

平成30年9月3日(月)

平成30年度2学期始業式

おはようございます。夏休みはどうでしたか。台風の接近で実質的に2日間休みが長くなりましたね。それが皆さんにとってよいことであったことを期待します。

さて、2学期が始まりました。2学期は、延高の1年間の中で最も集中して一つのことに取り組める期間だと思います。学校行事が少なく、また自分の進路をよく考える時期だからです。

その2学期の初日に当たって、皆さんに心に刻んでほしいキーワードを2つ伝えたいと思います。

まず、「背伸びする」ということです。我々の成長は、背伸びすることによって起こります。自分が今いる所に安住しては成長はありません。届くか届かないかわからない所に敢えて手を伸ばすこと。その行動こそが成長に必要です。結果は関係ありません。成功しようが失敗しようが、背伸びした事実には変わりがないからです。背伸びしたことによって、我々は成長しているのです。

また、背伸びとは、挑戦することです。すなわち、今できないことをやってみようということです。だから、皆さんには、「やっておけばよかった」という後悔でなく、「やらなくてもよかった」という後悔の方を選んでほしいと思います。

もう一つのキーワードは、「課題発見力」です。我々は直面している目の前のテーマに取り組もうとする時、まずは何が問題なのかを考える必要があります。課題を見つけなければ先には進めません。周囲の人と相談しながら、障害となっている課題を見つけてそれを克服する、その繰り返しで大きな問題が解決します。

例えば、皆さんのほとんどは不得意科目を持っているでしょう。不得意科目を克服するためには、まずどこで躓いているのかを見つけ出す必要があります。不得意となっている原因を一つ一つ明らかにすることで始めて対策が打てるのです。

最後に、特に3年生の皆さんに覚えておいてほしいことがあります。それは、我々の成長は指数関数曲線で現れるということです。

努力をしても、成長はすぐには始まりません。学習の成果が目に見えて上がる前に、ある程度の知識と経験値の蓄積が必要です。必要かつ十分な量が蓄積されると、これまでに学んだ内容が突然繋がりはじめます。それがいわゆる「腑に落ちる」という現象です。そこから、成長が急激に始まるものなのです。

夏に重ねた努力の上に、これから迎える秋の間、着実な努力をさらに積み重ねてください。そうすれば冬には必ず、指数関数曲線のように、その成果が現れます。皆さんの2学期の健闘を期待しています。